

地域防災力向上事業として353万9000円、地域防災学習会開催事業として160万円、災害に対し強靱なまちづくりを進める3705万円、河川監視カメラの拡充に1327万8000円が計上されています。

# 防災復興

**高梁GIGAスクール スタート！**

高梁市立の小中高校（小15校、中6校、高2校）において、国のGIGAスクール構想により、児童生徒への一人1台のタブレット端末環境が整備されました。

高梁市では、令和2年度は、教師用のデジタル教科書のみ導入ですが、ICTを活用し、学校における教育の質をより高めていく上で、学習者用デジタル教科書の導入について活用も研究していきます。

**児童生徒への影響は**

学習内容はほとんど増え、端末を注視する時間が長くなることにより、児童生徒の心身の健康への影響も考えなければなりません。

端末を児童生徒の家庭に持ち帰らせるには、家庭の通信環境の整備が必要です。また数年先の端末の更新費用の負担についても考えていかななくてはなりません。

平成30年7月豪雨災害から約3年が経ち、高梁市復興計画の復興期に移行します。高梁市は新たな計画として、災害時の避難行動を迅速に進めるため、危険区域や避難場所を表示したハザードマップを作成。浸水被害が多かった広瀬地区には緊急避難施設整備に取りかかります。また、整備を計画している内水排除用「落合雨水ポンプ場」は、平成30年7月豪雨時の雨量に対応できるものとして設計を進めています。外水（高梁川・成羽川からの流入）については、「県事業と併せて堤防のかさ上げ、河川しゅんせつなど、併せて行う必要がある」と市長が答弁しましたが、これも県が策定する河川整備計画が基本となり、完成時期は未定です。線状降水帯やゲリラ豪雨による甚大な被害が多い近年、早急な完成が望まれます。

## 学校ではどうか

学校現場も対応に追われています。業務の多忙化のなか、教師の指導力の向上も課題です。ICT環境の整備や授業支援のために、支援員が配置されています。今後もICT環境適応への積み重ねが必要で

# GIGA スクール構想

1人1台端末の導入を終え、新年度予算ではアプリケーションソフト（電子ドリルなど）の導入、スクールサポーターの拡充として747万3000円が計上されています。

## 国民健康保険事業調整基金は約4億4千万円 保険税率は据え置きに

高梁市は特定健診受診率が低く、重症化した生活習慣病の医療費が高額になる傾向があり、1人当たり医療費は、県内第1位と高水準です。国保制度改革後は、市は県が示す納付金の必要額を確保できるように予算編成を行っており、令和3年度についても、前年度の状況や今後の見込みに基づいて加入者の保険税を

算定しました。その際、前年度繰越金が約900万円以上ありましたが、これを国民健康保険事業財政調整基金に積み立てることとし、加入者が負担する保険税率は変更しませんでした。元来本市は自主財源に乏しく、今後も新型コロナウイルス感染症等のために先行き不透明で、保険税収入の確保が不確実な状況であること、生活困窮や被災などのため保険税を納めることが困難な加入者に対しては今後とも保険税減免措置が講じられていくことによるものです。

# 国民健康保険税

（国保の背景や今後の医療費の動向も踏まえながら）必要額を確実に確保できる保険税率を想定。

**GIGAスクールにより**

デジタル教科書には、直接自分の考えが書き込め、それをグループ学習や学級全体で共有し、発表したりすることができるという利点があります。

令和3年度には、端末で使用する電子ドリルの導入や、電子黒板の配置が計画されています。

	被保険者数	年度末基金残高	保険給付費
H20年	9,214人	5億3647万円	27億4531万円
H22年	8,714人	2億8878万円	29億1569万円
H24年	8,221人	2億2930万円	29億 858万円
H26年	7,726人	1億8168万円	29億 359万円
H28年	7,174人	3194万円	28億6051万円
H30年	6,537人	2億7202万円	26億4897万円

これに対して、国保加入世帯の税負担は増加しています。今回の積み立てにより4億4000万円を超えることになるので、基金の積み立てよりも市民負担の引き下げを求めるところから、3人の議員が議案に反対しました。

## 討 論

### 反対討論

石部 誠

### 賛成討論

金尾 恭士

議案6号、15号、48号、61号、62号について反対とし、他の議案には賛成の立場で討論を行う。議案6号は各種指定管理先33カ所が一括で提案されている。それぞれ当該委員会で審議されるべきである。

議案15号「介護保険」の保険料値上げに反対する。議案48号・62号は「国民健康保険特別会計」で、国保財政は不安定要因があるにしても、必要以上の基金積み立てを行わず、国保税の引き下げを求め反対する。

「令和3年度高梁市一般会計予算」については、市民の生活は年金や社会保障の切り下げなどで大変であり、非正規雇用が増え貧困化が進んでいる。吉備国際大学や図書館の委託などを優先的に予算組せず、市民生活を増進し、市民の毎日の暮らしを応援すべき。商品券の領布や、市内でのキャッシュレス決済での割引では、商店は登録業者のみ、購入者側もスマホ決済ができる方のみを支援となっている。

消防庁舎の移転については、今議会に基本設計と実施設計についての予算が提案されている。短時間での施工には危惧を感じる。

議案1号から76号まですべての議案について賛成の立場で討論を行う。

この度の人事異動では、女性管理職に部長級1人、次長級2人、管理職175人中50人で、28・6%の割合。2020年までに指導的地位の女性を30%にするという目標に近い数字であり、更なる伸長、民間企業への波及を望みたい。

「高梁市総合計画」、「第3次高梁市教育振興基本計画」がスタートする。市民の幸せのため確実な執行を要請する。「健幸都市たかはし」の実行には誠（言ったことを成す）が重要であると考え。議案8号・9号では施設の廃止条例が上程された。利用者の減少、老朽化などで公共施設の廃止は避けて通れない問題であるが、住民とのコンセンサス（合意形成）を図ってもらいたい。

「だれ1人取り残さない」SDGsの精神を中心に据えて、「高梁市総合計画」を羅針盤として、3万人の市民を乗せた船の航海が始まる。10年後、豊かな夢の島に上陸できることを祈念する。

## 3月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議案番号	件 名	金尾	平松	新倉	小柴	伊藤	森	森上	石井	石田	石部	三村	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	大月
6号	指定管理者の管理の期間の特例の廃止等に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	○
15号	高梁市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
48号	令和2年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
61号	令和3年度高梁市一般会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
62号	令和3年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	欠	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。